



# かがやけ憲法 キャラバンニュース

## 基地NO！ 教え子を再び戦場に送るな

★長崎・10月22日

### 昼デモ、宣伝を実施 「何でもかんでも、安倍さんの思うままに怖い」と批判の声



10月22日（水）、全労連「かがやけ☆憲法キャラバン」in長崎行動の一環として、昼休みデモと街頭宣伝を実施しました。

昼休みデモ行進は、労働組合や市民団体などから約50人が参加、参加者全員が黄色いスカーフをまとい、民医連の「基地NO」のプラカードや、高教組の「教え子を再び戦場に送るな」と書かれた横断幕、建交労の宣伝カーも登場し、多彩なアピールを展開、暴走政治を続ける安倍政権の退陣を

求めるデモパレードを盛り上げました。

長崎市内（鉄橋）の街頭宣伝行動では、チラシの配布940枚、署名72人分を集約し、シール投票も実施。多くの市民と対話も行われました。署名に応じた市民からは「いつのまにか消費税でも、憲法でも、なんでもかんでも、安倍さんの思うままになっていくのが怖いです」と、安倍政権への批判の声が出されていました。



#### <シール投票結果>

##### ◆集団的自衛権について

反対 70人、わからない 2人、賛成 4人

##### ◆憲法9条を変える

反対 70人、わからない 0人、賛成 2人

街頭宣伝のあとは、キャラバンカーでテープを流しながら石木ダム予定地を視察。昭和47年の予備調査から42年の年月がすぎ、長崎県は地元地権者に対して威圧・恫喝をする”スラップ訴訟”を起こしています。団結小屋やダム建設予定地付近のすばらしい自然を見ながら、「生まれ育った川原（こうばる）に住み続けたい。この大好きな自然を私たちの子供たちに残したい」という、住民のみなさんの想いがひしひしと伝わってきました。その後、佐世保市内のアーケードで最後の街頭宣伝を実施し、キャラバン隊は佐賀県へ引き継ぎました。